

株式会社足利セラミックラボラトリー

Vol.

48

2021 秋号

ACL-TIMES

WE HAVE MOVED!!



NEWS

新社屋完成、移転しました。

弊社は歯科技工所として歯科業界を牽引する立場であることに責務を感じ、近隣学生によるインターンシップの受け入れや、歯科技工士や歯科衛生士を目指している若者たちの研修受け入れ、同業者や歯科医師の方々の見学などを積極的に受け入れております。そのため、社屋の外観や内観を重視し、街への調和を意識することは、若者たちや近隣の方々へ輝かしい将来の道程を示す意味でも大変重要なことでした。

2021年9月に完成しました弊社新社屋は、慎重に討論を重ねた上で多数の候補の中から実現したものです。実際の建築期間は設計を含め2年半以上になりますが、全世界の歯科業界を対象にあちこち視察を重ねた弊社代表により、新社屋の構想は、はるか以前より着々と固められてきました。

内向的になりがちな歯科技工所をもっと魅力的にしたい。

私達の仕事はこんなに素晴らしいと若者に知ってほしい。

そんな夢がとうとう実現しました。

周囲の住環境に配慮しながらも、壁の質感を巧みに使い分けることで華やかさをを持たせることを意識した外観。ココスヤシやソテツ、その他印象的な植栽を施し、芝生や砂利により整備されたグラウンドはここがあたかも公園かのような雰囲気を醸し出しております。

生憎のご時世ですので、竣工式や内覧会等の開催は叶いませんでしたが、お近くにお越しの際はぜひ弊社新社屋まで足を伸ばしていただければ幸いです。ご来訪を心よりお待ち申し上げます。



Completed in September 2021



新社屋

〒373-0015
群馬県太田市東新町 714
TEL : 0276-20-5670
FAX : 0276-20-5671



Google MAP

WEB 内覧会開催中 !!

QRコードを読み取りご確認ください。

<https://acl-jp.com/new>



日本インプラント臨床研究会 第15回全員発表研修会に参加して

営業部

2021年9月12日、「東京ミッドタウン カンファレンス」にて、一般社団法人日本インプラント臨床研究会の「第15回全員発表研修会」が行われ、弊社からも企業展示の形で営業部より3名参加させていただきました。

日本インプラント臨床研究会はご承知かと思いますが、「1974年に創設され、インプラント学の発展と臨床技術の向上のために、内外の研究者や臨床家と交流をはかり、学会や定例研究会、講習会等を開催し、認定医を育成(当会HPより一部抜粋)」している団体です。このコロナ渦の折にも関わらず、安全面に最大限の配慮をしたうえで果敢に今回のような研修会を企画され開催を実現されている非常にパワフルな団体です。

研修会当日、実際に現地に趣きブース展示をさせていただきましたが、「ハイブリッド型講演会」と呼ばれる形式での開催によるため、実際に足を運ばれた聴講者数は調整され少数でした。ほとんどの方がZOOMによる聴講とのこと。ハイブリッド型とは、研修会場に実際に足を運ばれる「来場型」と、インターネットを介して受講する「オンライン型」を組み合わせたものです。

今回の目玉となるメインの講演は2つ、午前中に行われた京都市開業医の中居伸行先生(歯学博士・なかい歯科院長)の講演、午後は東京都渋谷区開業の水口稔之先生(歯学博士・水口歯科クリニック所長)による講演となりました。

水口稔之先生は「コラーゲンボールテクニックについて」と題し、リセッション(歯肉退縮)した殆んど皮一枚の歯肉状態から、このテクニックにより驚くほどの回復を見せた症例を多数スライドにて発表されていました。コラーゲンボールテクニックとは、ムコグラフトなどのコラーゲン製剤をボール状に固く丸めることで血液に溶けやすい特性を抑制し、根尖側からこのコラーゲンボールを押し上げるように入れることで、ボリュームを維持するテクニックとのこと。最新の歯科医療誌に掲載されたことで注目を集めていたそうです。

中居伸行先生の講演では、「これからのインプラント治療のベーシック “Zero Bone Loss Concepts” 日本語版発刊にあたって」と題し、いかに骨吸収をゼロにするかの研究を重ねた成果を発表されました。その中には歯科技工士目線のテクニックを解説した項目もあり、これは弊社にてすぐにも取り入れ提供可能なテクニックでしたので、ここに説明させていただきます。

骨吸収及びリセッションを最小限にするためには「生体親和性」をいかに高めるかもポイントとなり、これは歯科技工のテクニックからもアプローチ可能とのこと。



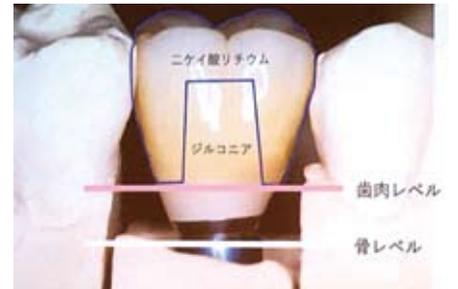
講演では改めて生体親和性の高い素材の解説がありました。ジルコニアが一番生体親和性が高く、チタン、ニケイ酸リチウム、セラミックの順番となるそうです。



ジルコニアを使用した症例によると、画像のとおりクリーピングが起り、ジルコニアの生体親和性が改めて良好であることが示されました。



上図、モノリシックジルコニア+チタンベースの症例では、2例の技工物が表示されており、それぞれ歯肉貫通部の形態に違いがあるとのこと。真中の写真は複製になってしまった技工物の画像で、右側の写真は良好な結果が得られたとのこと。



これらの違いは、歯肉貫通部のリセッションを最小限にするために、生体親和性の高いジルコニアの研磨面をあえて露出させてセットしているところにあるそうです。モノリシックのグレース面はセラミックと同じ生体親和性になるため、チタンの研磨面よりも生体親和性が落ちてしまうそうです。

日々、歯科医師の先生方が直面されている骨吸収やリセッションの課題をクリアするためには、生体親和性をあらゆる方面から見据える必要もあり、それは我々歯科技工士にも大きく影響が及びます。それは改めて「チーム医療」の重要性を再認識することでクリアしなければならない課題でもあり、我々歯科技工士も先生方にアドバイスできるよう、日々研鑽が必要であると、その様なことを改めて決意した貴重な講演となりました。

上記テクニックにつきましては弊社でも十分にご対応可能ですので、是非、お問い合わせ下さい。

※当記事の画像は中居伸行先生講演会より引用

役員変更のお知らせ

総務部

9月1日、新社屋での仕事開始に伴い、「第33期 期首挨拶会」がセミナールームにて開催され、宗村裕之が代表取締役社長を退任し、代表取締役会長に就任、宗村政明が取締役副社長を退任し、代表取締役社長に就任することが発表されました。

新しい社屋と新体制によるスタートの元、これからも弊社はみなさまの期待に応えるべくより一層の努力を重ね邁進いたします。今後ともご指導いただけましたら幸いです。

【変更前】

代表取締役社長 宗村 裕之
取締役副社長 宗村 政明



【変更後】

代表取締役会長 宗村 裕之
代表取締役社長 宗村 政明



足セラだから 足利のイ ところ紹介



足利市民 遠藤隆雄

鑿阿寺と人面魚

美味しいものと侘び寂びの風情が楽しみな秋がいよいよやってきました！魅力しかないこの足利を多面的にたっぷりとお伝えしてきました当コラム、今回はとうとう！あの「鑿阿寺(ばんなじ)」にフォーカスを当てたいと思います！

足利市民なら一日一回は訪れていると言っても過言ではない鑿阿寺ですが、私の祖父の世代から私の子まで、みんなお世話になり通します。地元の人からは大日様と呼ばれ大変な親しまれような、そんな鑿阿寺の魅力と言えば、近辺を含め古都の雰囲気がいびんに広がっていることでしょうか。足利市が小京都と言われる所以がここにあり、からんころんと下駄を鳴らしたくなる石

畳に、小道沿いに並ぶレトロ風情な店舗の数々…本当にぶらり散歩にうってつけです。その鑿阿寺とすぐ近くに位置する足利学校の周囲にはたつぷりと水を蓄えた堀があるのですが、この堀の存在感がまた素晴らしいのです。春になると堀沿いの桜が一齐に咲き乱れ、ライトアップされる夜には水面に映えた桜がまたひときわ美しいのです。このお堀には巨大な鯉がたくさん泳いでいるのですが、餌を投げ入れると優雅だった鯉たちが一瞬にして狩人に豹変するその様もまた趣きがあるのです。幼児は涙目になります。そして、その鯉なんですが…人面魚がいるとかいないとか、そんな噂があるとかないとか。「巨大」との形容詞が良く似合う鯉がたくさん泳ぐ中をじっと見ているとそのうち目が合うかも知れませんね。餌を求めあなたをロックオンしているとか。怖いですねー。でも人面魚を発見した人には幸せが訪れるとか…そんな噂があるようなないような…ぜひ見つけてみてください！

秋らしく、グルメ情報もお知らせ！散歩でちょっと疲れたら鑿阿寺境内にある「大日茶屋」と「ひこまや」にどうぞ。「足利しゅうまい」に「ポテト入焼きそば」をどうぞ。見上げた先には見事なイチョウ！！秋ですねー甘いものでも食べましょう



左：鑿阿寺の堀と鯉
右：境内にある大きなイチョウの木



か。鑿阿寺から南へ150メートルほど歩いた「カフェラボハマダ」へどうぞ。ミルクソフトと宇治抹茶ソフト絶品ですよ。軽食もあります。実はこのカフェ、私が子供の頃はレコードショップとして有名でした。中学生のころ背伸びして、クラブトンやデビットボウイなんて買いました。店内はだいぶ様変わりしましたが、私にとっては青春の1ページに登場する懐かしのお店です！

さあ、鑿阿寺と足利学校の近辺をちょっとだけ紹介しましたが、まだまだ魅力的なところはいっぱいあります！ぜひ散歩してみてください！では、今日もこれから鑿阿寺に行ってきます！

新型コロナウイルス感染症に対する、弊社の対策。

弊社では、新型コロナウイルスの感染拡大をうけ、お客様及び弊社従業員の健康維持、そして事業維持のために下記の取り組みを行っております。

- ✓ 社内及び外出先でのマスク装着を徹底。
- ✓ 従業員は朝晩に検温し、その結果を報告、37.0℃以上の場合は自宅待機要請。
- ✓ 次亜塩素酸水を全従業員に配布し、職場や家庭内での手指消毒の奨励。
- ✓ 訪問時はマスク着用で訪問、その前後に次亜塩素酸水による手指消毒。
- ✓ お預かりした技工物を次亜塩素酸水により消毒。
- ✓ 社内の窓、ドア等を開放することで換気。
- ✓ 出張、及び不特定多数が集まるセミナー等への参加を原則禁止。
- ✓ 歯科医院への立ち会いを禁止。
- ✓ 業務によるセミナー開催を中止、もしくは延期。
- ✓ 来訪者へ次亜塩素酸水による手指消毒の協力をお願い。
- ✓ 来訪者に検温の協力をお願い。



ASHIKAGA CERAMIC
LABORATORIES, INC.

歯を創る。 人を支える。

単純な様で奥深い
この使命のため、
私たちは技術を磨き
人を育みます。

グローバルに創る

最新システムで創る

職人の手で創る

ハワイや国内数カ所に拠点を設け、高精度の歯科技工物、更には歯科材料、システムなどをスムーズにご提供する事が可能となっております。

最新のCAD/CAMシステムからプレスファーンズ、機能性の高い義歯をご提供するためのシステムを多数導入しております。

学会認定技士ならではの技術力に裏打ちされた高精度の技工物をご提供しております。



3シェイプ D2000



3シェイプ 口腔内スキャナー TRIOS



BEGO ハルセオ 3Dプリンター



ローランドDG ミリングマシン DWX-50 / DWX-4

日本口腔インプラント学会
認定歯科技士
5名在籍

国際口腔インプラント学会
認定歯科技士
6名在籍



3M Lava Scan ST



シロナ inEos X5 / inLab MC X5



ストローマン CARES D7 PLUS



ノーベルプロセラ ジェニオン2

日本歯科技士会
認定講師
1名在籍

日本歯科技士会
認定士
1名在籍

BPSシステム
認定技士
2名在籍

その他所属学会

- 日本インプラント臨床研究会
- SJCDインターナショナルデンタルコンセプト21
- 日本歯科技士会 / 日本歯科技工学会
- 日本顎咬合学会 / 日本歯科審美学会
- 日本デジタル歯科学会
- 日本臨床歯科CAD/CAM学会
- 日本歯科技工所協会
- 小嶋会 / スタッディーグループ「あゆみ会」



ジーシー Aadviva ML1D1 / Aadvivaスキャナー



Ivoclar Vivadent プログラムマット EP5010 / EP5000



シントラ ジルコニア用ファーンズ

株式会社 足利セラミックラボラトリー

- 本社 群馬県太田市東新町 714 TEL 0276-20-5670 FAX 0276-20-5671
- 東京支社 株式会社 エムエスシー 東京都文京区本郷 2-8-1 寿山堂ビル 5F TEL 03-3811-0241 FAX 03-3811-0240
- ハワイ支社 ACL Hawaii, INC. 1600 Kapiolani Blvd., Suite 1227, Honolulu, Hawaii 96814 U.S.A. TEL (808)947-2128
- 茨城支社 株式会社 デンタルアート 茨城県水戸市平須町 2-72 TEL 029-305-5858
- 仙台営業所 TEL 0120-1372-18
- 山形営業所 山形県上山市朝日台 2-3-31 TEL 080-2202-5455
- 歯科材料販売事業 株式会社 デンタルマート 栃木県足利市中川町 3771-2 TEL 0284-72-5028
- 教育事業 デンタルアカデミー東京 東京都文京区本郷 2-8-1 寿山堂ビル 5F TEL 03-3811-0223 FAX 03-3811-0240

お気軽にご連絡ください

☎ 営業時間: 8:00~18:00 (日祝を除く)

0276-20-5670

☑ QRコードをお読み込みください

info@acl-jp.com

